

国産車のリコール(平成20年度及び21年度 416件)のうち届出者においてリコールの実施を決定してから届出に至るまで明らかに2か月以上かかっている事例一覧(34件)

No.	対象車の区分 (車種・用途)	対象台数 (台)	決定日から届出 日までの期間 (月)	決定日から届出日ま での期間に発生した 不具合 (件)
1	小型特殊	1,000台未満	8.3	1
2	大型特殊	100台未満	7.3	8
3	小型特殊	1,000台未満	6.0	0
4	大型特殊	100台未満	5.7	0
5	大型特殊	100台未満	4.8	5
6	大型特殊	100台未満	4.7	0
7	小型特殊	100台未満	4.5	0
8	大型特殊	100台未満	4.3	0
9	小型特殊	1,000台未満	4.2	2
10	大型特殊	100台未満	4.1	0
11	普通貨物・普通特種・大型特殊	100,000台未満	3.9	1
12	大型特殊	100台未満	3.8	0
13	小型特殊・大型特殊	1,000台未満	3.7	0
14	大型特殊	100台未満	3.7	0
15	小型特殊	100台未満	3.6	0
16	大型特殊	1,000台未満	3.2	0
17	小型特殊・大型特殊	1,000台未満	3.1	0
18	小型特殊・大型特殊	100台未満	3.1	0
19	小型貨物・普通乗合・普通貨物	1,000台未満	3.1	0
20	小型特殊	100台未満	2.8	0
21	普通乗合・普通貨物	10,000台未満	2.8	1
22	普通乗用	1,000台未満	2.7	0
23	大型特殊	100台未満	2.6	0
24	小型特殊・大型特殊	1,000台未満	2.6	0
25	普通貨物	1,000台未満	2.4	0
26	普通貨物	1,000台未満	2.4	0
27	普通貨物	1,000台未満	2.4	0
28	普通貨物	100,000台未満	2.3	6
29	普通貨物	100台未満	2.3	0
30	普通乗用	10,000台未満	2.1	0
31	軽乗用・軽貨物	100,000台以上	2.1	2
32	大型特殊	100台未満	2.1	0
33	普通乗用	10,000台未満	2.1	0
34	軽乗用・軽貨物	100,000台以上	2.0	0

(注1) 国土交通省の調査提出資料に基づき、消費者委員会が作成した。

(注2) 平成20年度及び21年度の国産車のリコール(416件)の届出の参考資料の中で、届出者がリコールの実施を決定した日が明らかなものについて、当該決定日から届出日まで2か月以上かかっている事例を抽出した。

(注3) 「対象台数」欄では、リコールの対象車両の台数を、以下の基準に従って記載している。

100台未満 : 「100台未満」
100台以上1,000台未満 : 「1,000台未満」
1,000台以上10,000台未満 : 「10,000台未満」
10,000台以上100,000台未満 : 「100,000台未満」
100,000台以上 : 「100,000台以上」

(注4) 「決定日から届出日までの期間」欄では、決定日から届出日まで何か月かかったかを記載している。なお、1件の届出において、複数の不具合箇所のリコールを同時に届け出ている場合で、個々の不具合によってリコールを決定した日が異なる場合は、そのうち最も早くリコールを決定した日を起点として算出した。

(注5) 「決定日から届出日までの期間に発生した不具合」欄では、リコール届出前に発生した不具合のうち、決定日から届出日の間に発生した不具合の件数を記載している。なお、塗りつぶしは、当該不具合がある事案を示す。

輸入車のリコール(平成20年度及び21年度 183件)のうち届出者が本国メーカーから市場措置(リコール等)決定の通知を受けてから届出に至るまで明らかに4か月以上かかっている事例一覧(32件)

No.	対象車の区分 (車種・用途)	対象台数 (台)	本国メーカーからの市場措置決定の通知を受けてから届出日までの期間 (月)	本国メーカーから市場措置決定の通知を受けてから届出日までの期間に発生した不具合 (件)
2	小型二輪(乗用)	10,000台未満	10.4	0
3	普通乗用	1,000台未満	9.7	0
4	普通乗用	100台未満	9.3	0
5	普通乗用	100台未満	8.2	0
6	乗用	10,000台未満	8.0	0
7	小型乗用	10,000台未満	7.6	0
8	二輪	10,000台未満	7.3	0
9	普通乗用	100台未満	7.2	0
10	小型乗用	1,000台未満	7.2	0
11	原動機付自転車(乗用)	1,000台未満	7.1	0
12	普通乗用	1,000台未満	7.1	0
13	普通乗用	1,000台未満	6.5	0
14	普通乗用	10,000台未満	6.2	0
15	普通乗用	1,000台未満	6.0	0
16	普通乗用	1,000台未満	5.9	0
17	普通乗用	1,000台未満	5.9	0
18	小型二輪(乗用)	1,000台未満	5.4	0
19	普通乗用	1,000台未満	5.1	0
20	普通乗用	1,000台未満	5.1	1
21	普通乗用	1,000台未満	5.0	0
22	小型乗用・普通乗用	10,000台未満	5.0	0
23	普通乗用	100台未満	5.0	0
24	普通乗用	10,000台未満	4.8	3
25	普通乗用	1,000台未満	4.7	0
26	普通乗用	100台未満	4.6	0
27	普通乗用	10,000台未満	4.5	0
28	普通乗用	10,000台未満	4.5	0
29	普通貨物・普通特種	100台未満	4.4	0
30	普通乗用	10,000台未満	4.3	0
31	普通乗用	1,000台未満	4.3	0
32	小型二輪(乗用)	10,000台未満	4.3	2
33	普通乗用	100台未満	4.1	0

(注1) 国土交通省の調査提出資料に基づき、消費者委員会が作成した。

(注2) 平成20年度及び21年度の輸入車のリコール(183件)の届出の参考資料の中で、本国のメーカーからリコール等の市場措置の実施決定について通知された日が明らかなものについて、当該通知日から届出日まで4か月以上かかっている事例を抽出した。

(注3) 「対象台数」欄では、リコールの対象車両の台数を、以下の基準に従って記載している。

100台未満 : 「100台未満」

100台以上1,000台未満 : 「1,000台未満」

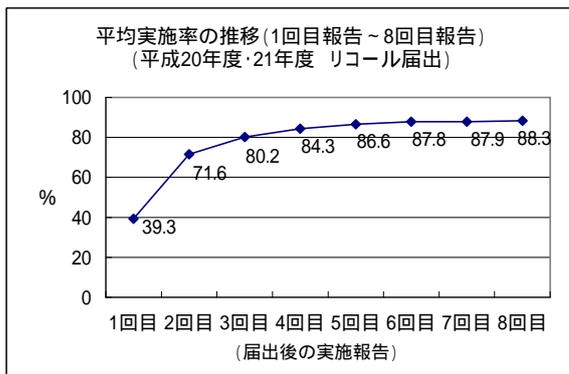
1,000台以上10,000台未満 : 「10,000台未満」

(注4) 「本国メーカーからの市場措置決定の通知を受けてから届出日までの期間」欄では、通知日から届出日まで何か月かかったかを記載している。なお、1件の届出において、複数の不具合箇所のリコールを同時に届け出ている場合で、個々の不具合によって本国からの通知日が異なる場合は、そのうち最も早い通知日を起点として算出した。

(注5) 「本国メーカーから市場措置決定の通知を受けてから届出日までの期間に発生した不具合」欄では、リコール届出前に発生した不具合のうち、通知日から届出日の間に発生した不具合の件数を記載している。なお、塗りつぶしは、当該不具合がある事案を示す。

リコール実施率の状況

1. 実施率の状況(全体)



報告	実施率 (%)	データ数
1回目	39.3	700
2回目	71.6	612
3回目	80.2	503
4回目	84.3	435
5回目	86.6	347
6回目	87.8	247
7回目	87.9	169
8回目	88.3	88

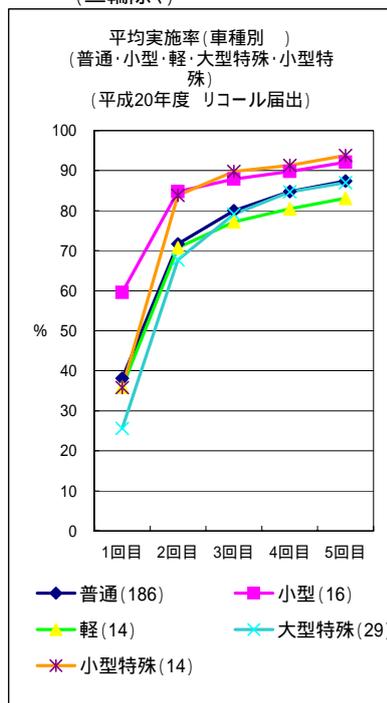
(注1) 上記は、国土交通省の調査提出資料に基づき、消費者委員会が作成したもの。

(注2) 平成20年度及び21年度のリコール届出(599件・704データ)について、国土交通省に四半期ごとに報告された実施率をもとに、届出後の報告回数ごとの実施率の平均を算出した。なお、1件の届出で複数の車名ごとに実施率を報告しているケースもあるため、届出件数とデータ数は一致しない(以下の2.及び3.についても同様)。

2. 実施率の状況(車種・用途別)

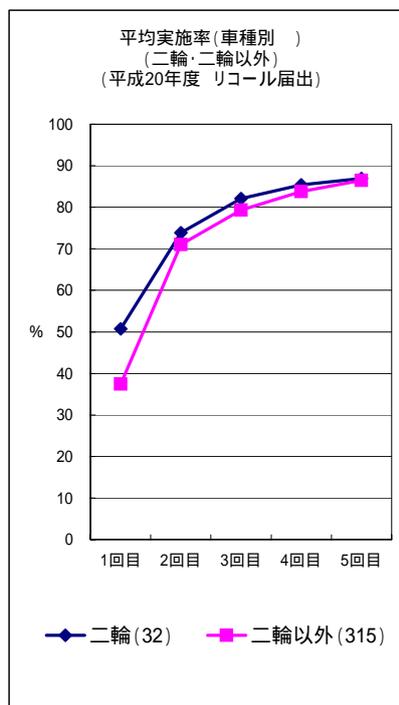
(1) 車種別

(普通・小型・軽・大型特殊・小型特殊)
(二輪除く)



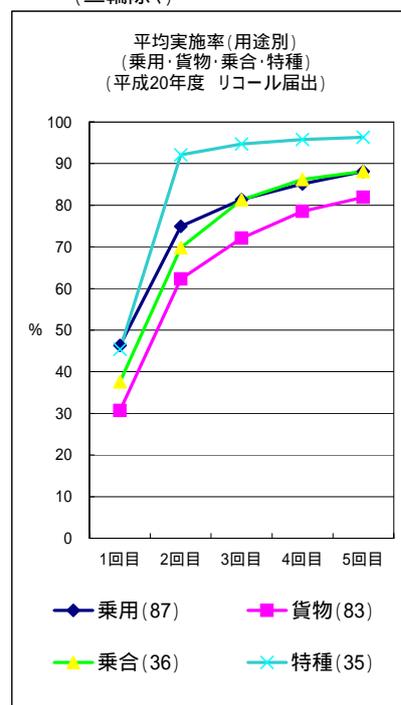
(2) 車種別

(二輪・二輪以外)



(3) 用途別

(乗用・貨物・乗合・特種)
(二輪除く)

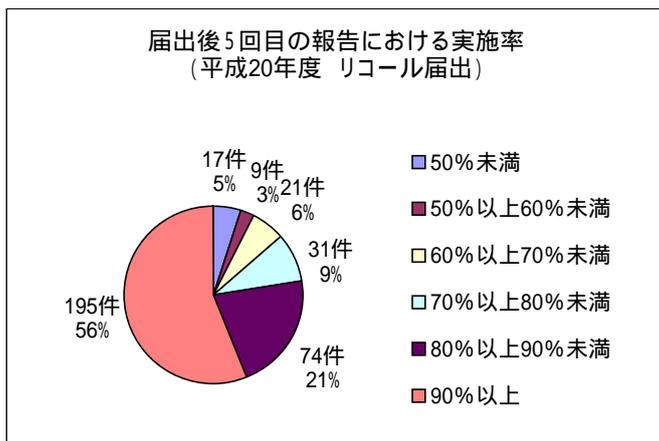


(注1) 国土交通省の調査提出資料に基づき、消費者委員会が作成した。

(注2) 平成20年度のリコール届出(295件・347データ)について、国土交通省に届け出られた対象車両の車種・用途及び四半期ごとに報告された実施率をもとに、車種ごと・用途ごとの実施率の平均を算出した。なお、実施率の報告にあたり、「普通・小型」「貨物・乗用」のように、複数の車種・用途の車両の実施率をまとめて報告しているもの等、車種ごと・用途ごとの実施率が明らかでないものは、対象から除外した。

(注3) 「二輪」には、三輪の原動機付自転車を含む。

3. 届出後5回目の報告における実施率
 (届出から、その後約12か月ないし15か月後の時点で報告されたリコールの実施率)



実施率 (%)	データ数
50%未満	17
50%以上60%未満	9
60%以上70%未満	21
70%以上80%未満	31
80%以上90%未満	74
90%以上	195
合計	347

(注1) 国土交通省の調査提出資料に基づき、消費者委員会が作成した。

(注2) 平成20年度のリコール届出(295件・347データ)について、国土交通省に四半期ごとに報告された実施率のうち、届出から5回目の報告における実施率の状況を示した。

平成19年度以前に届け出られたリコールのうち平成22年3月末時点の実施率が50%未満の事例(48件)

No.	対象台数 (台)	措置済み台数 (台)	未措置台数 (台)	車検証アリ 未措置台数 (台)	実施率 (%)	実質 未措置率 (%)	主な対象車両の 製作期間の始期
1	100台未満	100台未満	100台未満	100台未満	0.0	100.0	平成16年10月
2	149,000	4,000	145,000	145,000	2.8	97.2	製作期間不明
3	5,000	1,000台未満	5,000	100台未満	5.7	0.4	昭和58年7月
4	100台未満	100台未満	100台未満	0	6.8	0.0	平成元年11月
5	1,000	1,000台未満	1,000	1,000	11.6	88.3	平成5年4月
6	100台未満	100台未満	100台未満	0	12.5	0.0	平成5年6月
7	1,000	1,000台未満	1,000台未満	100台未満	18.1	0.1	平成4年11月
8	2,000	1,000台未満	2,000	100台未満	19.7	2.2	昭和57年12月
9	13,000	2,000	10,000	1,000台未満	20.5	4.6	平成4年7月
10	254,000	53,000	201,000	6,000	20.9	2.6	昭和57年9月
11	172,000	36,000	136,000	39,000	21.2	22.9	平成2年12月
12	1,000台未満	100台未満	1,000台未満	0	22.3	0.0	平成3年9月
13	129,000	31,000	97,000	4,000	24.7	3.9	平成3年8月
14	19,000	4,000	14,000	1,000台未満	24.9	1.3	平成4年6月
15	32,000	8,000	24,000	1,000台未満	25.3	1.5	昭和58年7月
16	60,000	15,000	45,000	1,000	25.4	3.0	平成3年3月
17	2,000	1,000台未満	1,000	1,000台未満	26.0	5.6	昭和62年9月
18	4,000	1,000	3,000	100台未満	26.3	1.3	平成4年6月
19	1,000台未満	100台未満	1,000台未満	100台未満	28.0	1.1	平成4年4月
20	48,000	13,000	34,000	1,000台未満	28.5	1.5	平成4年3月
21	26,000	8,000	18,000	1,000台未満	30.3	1.8	平成4年9月
22	1,000	1,000台未満	1,000	1,000	30.5	69.5	製作期間不明
23	100台未満	100台未満	100台未満	100台未満	31.3	18.8	昭和59年7月
24	8,000	2,000	5,000	1,000台未満	32.0	1.8	平成4年9月
25	2,000	1,000台未満	1,000	100台未満	32.2	1.9	平成6年12月
26	10,000	3,000	6,000	100台未満	33.0	0.8	平成2年11月
27	3,000	1,000	2,000	1,000台未満	33.3	6.3	平成2年11月
28	208,000	70,000	138,000	7,000	33.6	3.4	平成4年3月
29	4,000	1,000	3,000	未記入	33.9		平成7年2月
30	1,000台未満	1,000台未満	1,000台未満	0	34.5	0.0	昭和60年6月
31	13,000	4,000	8,000	1,000台未満	36.3	1.2	平成6年10月
32	34,000	12,000	21,000	1,000	37.3	4.3	平成元年10月
33	1,000台未満	1,000台未満	1,000台未満	100台未満	39.1	3.5	平成4年6月
34	3,000	1,000	1,000	100台未満	39.2	1.4	昭和59年11月
35	232,000	93,000	139,000	103,000	40.1	44.5	平成2年6月
36	21,000	8,000	12,000	1,000台未満	40.3	1.9	平成元年11月
37	168,000	72,000	95,000	1,000	43.4	0.7	昭和58年7月
38	13,000	5,000	7,000	1,000台未満	44.5	1.8	平成5年8月
39	2,000	1,000	1,000	100台未満	45.0	1.2	平成8年5月
40	1,000台未満	1,000台未満	1,000台未満	0	45.4	0.0	平成7年12月
41	30,000	14,000	16,000	車検制度の 対象外車両	46.4		平成6年7月
42	100台未満	100台未満	100台未満	100台未満	47.0	10.6	平成10年4月
43	100台未満	100台未満	100台未満	100台未満	47.1	52.9	平成18年9月
44	9,000	4,000	5,000	1,000台未満	47.5	8.7	平成3年11月
45	1,000台未満	1,000台未満	1,000台未満	100台未満	48.1	5.2	平成5年8月
46	20,000	9,000	10,000	2,000	48.9	11.3	平成元年5月
47	1,000台未満	100台未満	100台未満	100台未満	49.3	4.9	平成7年3月
48	1,000台未満	1,000台未満	1,000台未満	100台未満	49.6	3.1	平成4年10月

(注1) 国土交通省の調査提出資料に基づき、消費者委員会が作成した。

(注2) 消費者委員会が今般の調査においてヒアリングを実施した以下の15社の平成19年度以前のリコール届出について、国土交通省に報告された「リコール実施状況報告書」(平成22年3月31日時点)に記載されている事案(計585件)のうち、実施率が50%未満の事例を抽出した。

【国産自動車メーカー(10社)】

いすゞ自動車(株)・スズキ(株)・トヨタ自動車(株)・日産自動車(株)・日野自動車(株)・富士重工業(株)・本田技研工業(株)・マツダ(株)・三菱自動車工業(株)・三菱ふそうトラック・バス(株)

【輸入車インポーター(5社)】

アウディジャパン(株)・ビー・エム・ダブリュー(株)・メルセデス・ベンツ日本(株)・日産トレーディング(株)・フォルクスワーゲングループジャパン(株)

- (注3) 「車検証アリ未措置台数」欄では、「リコール実施状況報告書」において「リコール対象車のうち自動車検査証を有する未改善車の台数」として記載された台数を記載した。なお、塗りつぶしは、当該台数が1,000台以上の事案を示す。
- (注4) 「対象台数」「措置済み台数」「未措置台数」「車検証アリ未措置台数」の各欄では、各々の台数を、以下の基準に従って記載している。
- 100台未満 : 「100台未満」
 - 100台以上1,000台未満 : 「1,000台未満」
 - 1,000台以上 : 1,000台未満を切り捨てて表示
- (注5) 未措置台数の中には、車検証を有さない車両(現時点では走行していない車両)も含まれることから、そのような車両を除いて、リコールの対象となった車両のうち、今も車検証を有しており、かつ、改善措置が未実施であるものがどのくらいあるのかを確認するために、「実質未措置率」欄では、以下の数式により算出した値を記載している。
- 「車検証アリ未措置台数」÷「対象台数」×100
- (注6) メーカー等に対するヒアリングにおいて、リコールの実施率が低い事案の特徴の1つとして、対象車両の製作時期が古いことが挙げられたため、「主な対象車両の製作期間の始期」欄では、上記の各事案の対象車両のうち、最も対象台数が多い型式の製作期間の始期を記載している。なお、型式ごとの対象台数が届出内容から判明しない場合は、対象車両のうち、最も製作期間が古い車両の製作期間の始期を記載した。

リコール等の届出後、改善が未実施の状況で事故・火災が発生した事例一覧(14件)

No.	発生日	種類	車名	通称名	型式	原動機型式	初度登録年	走行距離	装置名	事故の内容	発生原因 (:設計・製作に起因したことが判明しているもの)	被害状況	備考
1	2009/8/4	貨物自動車	トヨタ	ダイナ・トヨエース	XZU307	S05C	2000/5	129075km	その他の装置	走行中にステアリングコラムの辺りから発煙した。路肩に止め、助手席の荷物を取り出そうとしたら発火した。	調査の結果、間欠ワイパーリレーの接点脱落に伴う出火と判断する。当該車両はリコールの対策が未実施であった。「」	【火災(人的被害無し)】	2004年8月31日、リコール届出(国-1202)
2	2009/7/30	貨物自動車	三菱	ふそうキャプター	FE71DBD3A4	4M50	2007/12	23750km	その他の装置	駐車場でフロントバンパー部を破損させ、そのまま運転したところ、フロント部より煙が出たので水をかけ消火した。	リコール届出(R2308)の対策未実施に起因した火災と判断する。「」	【火災(人的被害無し)】	2009年5月15日、リコール届出(国-2308)
3	2009/7/23	乗用自動車	スズキ	エスクード	TD01W		不明/	112810km	その他の装置	走行中、信号待ちの際に エンジンルームから出火したため、路肩に停車して消火器で消火した。	損傷状況がエアコンハーネスリコールの不具合状況と同様のため、リコールと同一の原因で火災に至ったと判断する。当該車両はエアコンハーネスリコールの対策が未実施であった。「」	【火災(人的被害無し)】	2008年4月22日、リコール届出(国-1297)
4	2009/7/11	軽乗用自動車	マツダ	スクラム	DG52V		2000/9	不明km	その他の装置	アイドリング時、コラムカバー付近から発煙し、出火した。	損傷状況がイグニッションスイッチリコールの不具合状況と同様のため、リコールと同一の原因で火災に至ったと判断する。当該車両はイグニッションスイッチリコールの対策が未実施であった。「」	【火災(人的被害無し)】	2006年4月6日、リコール届出(国-1652)
5	2009/7/2	貨物自動車	トヨタ	ダイナ・トヨエース	XZU412	S05C	2000/2	86192km	その他の装置	走行中ワイパースイッチより発煙した。走行中ワイパーが動かなくなったので、スイッチを動かしていたら煙が出た。	間欠ワイパーリレーの接点脱落に伴う出火と判断する。リコール届出の改善措置が実施されておらず、不具合に至ったものである。「」	【火災(人的被害無し)】	2004年8月31日、リコール届出(国-1202)
6	2009/6/9	乗用自動車	トヨタ	ハリアー	MCU15W-AWPGK	1MZ-FE	1998/3	70282km	その他の装置	駐車場でアイドリング停車中、エンジンルームより発煙。消火器で消火。触媒溶損、エンジンルーム一部焼損。	調査の結果、触媒が異常過熱して溶損し触媒上部の部品の一部が焼損している状態で、エンジンの空燃比センサのリコールの対策が未実施であることが確認された。以上のことから、リコールの対策が未実施であったため、触媒が異常過熱したことによるものと判断。「」	【火災(人的被害無し)】	2006年11月16日、リコール届出(国-1774)
7	2009/5/14	原動機付自転車	スズキ	アドレスV125	CF46A		2005/9	(不明)km	その他の装置	ガソリン給油後、キャップを締めようとしたが、締りに違和感を感じたため2回ほど締め直した。20分程度走行して駐車し、約10分後に発火した。	焼損状況より、リコールと同一の原因で出火したと判断する。当該車両は、リコールの対策が未実施であった。「」	【火災(人的被害無し)】	2007年8月1日、リコール届出(国-1923)
8	2009/3/31	貨物自動車	三菱		FS540VZ1	6D40	2000/2	679390km	動力伝達装置	高速道路走行中にプロペラシャフトが脱落し、後続5台を損傷させる事故が発生。警察が出勤した。尚、後続車の状態はオイルパン破損1台、バンク1台、その他は不明。	リコール届出(国-2170)の対策が未実施であった為に発生したものと判断。「」	【物損事故】	2008年8月5日、リコール届出(国-2170)
9	2009/3/5	貨物自動車	トヨタ	ダイナ・トヨエース	XZU411	S05D	2000/3	168000km	その他の装置	ワイパーを操作したら、ワイパースイッチ付近から発煙、発火した。キャビンが全焼した。	間欠ワイパーリレーの接点脱落に伴う出火と判断する。当該車両はリコールの対策が未実施であった。「」	【火災(人的被害無し)】	2004年8月31日、リコール届出(国-1202)
10	2009/2/8	乗用自動車	ホンダ	ホライゾン	UBS73GWH	4JX1	1999/4	109405km	原動機	走行中、勝手にエンジン回転が上昇して曲がりきれず、塀に接触した。	滑経路に燃料が混入し、オイルがPCV経路から燃焼室へ入り、オイルが燃焼するような異常燃焼運転が発生したと推定する。当該車両は、リコールの対策が未実施であった。「」	【物損事故】	2003年7月23日、リコール届出(国-0966)

No.	発生日	種類	車名	通称名	型式	原動機 型式	初度 登録年	走行距離	装置名	事故の内容	発生原因 (設計・製作に起因したことが判明しているもの)	被害状況	備考
11	2009/1/28	軽乗用自動車	ホンダ	THATS	JD1	E07Z	2007/4	6911km	その他の装置	使用者より、駐車してキーを抜き降車していると、車両が後退を始め、開けていた運転席ドアが足に当たり転倒して右足首を捻挫した。車両はそのまま後退しブロック塀に接触して停止したとの訴えがあった。	キーインターロックソレノイド駆動回路確認結果、トランスジスタのベース抵抗が増加しており、キーインターロック機構が作動せず、Pポジション以外でもキーシリンダからキーが抜け、事象に至ったと判断する。当該車両は改善対策の対策が未実施であった。「」	【軽傷:1名】	2009年1月22日、改善対策届出(改善対策-376)
12	2009/1/8	原動機付自転車	スズキ	アドレスV125	CF46A		2005/7	16819km	その他の装置	エンスト、セントスタンドを立てたところシート下より発煙し、シートを開けたら発火した。	燃料により給油口が膨潤して燃料タンクキャップの締め付けが重くなり適切に締め付けられなくなったため、給油口から燃料が漏れ、静電気等により引火し、火災に至ったと判断。当該車両はリコールの対策が未実施であった。「」	【火災(人的被害無し)】	2007年8月1日、リコール届出(国-1923)
13	2009/1/5	貨物自動車	三菱	ふそう	FV50JJXD3	6M70	2008/10	1523km	原動機	走行中バーンと大きな音がし、クラッチを切ったらエンジン停止し、ガードレールに接触し車両が停止した。車両を降りて電話をしていたら、エンジンルームから火がでた。消防にて消火。キャブ含め、車両前方全焼。	燃料供給ポンプの内部に発生した亀裂から燃料が漏れ、エンジンオイルに混入し、燃料の混入したエンジンオイルが漏れ火災となったと判断。当該車両はリコールの対策が未実施であった。「」	【火災(人的被害無し)】	2008年12月11日、リコール届出(国-2234)
14	2008/11/	貨物自動車	ニッサン	キャラバン	E25	ZD30DDT1	2004/6	(不明)km	その他の装置	高速道路でガリガリと異音がして、出口で走行が不能、タイヤが外れかかり、出火した。ペットボトルのお茶で消火した。	リコール届出(国-2119)の対策が未実施であった為に発生したものと推定。「」	【火災(人的被害無し)】	2008年5月30日、リコール届出(国-2119)

(注1) 国土交通省のホームページにおける公表情報に基づき、消費者委員会が作成した。

(注2) 国土交通省のホームページ(<http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/cgi-bin/search.cgi>)における事故・火災情報検索により閲覧できる1,457件の事例について、その備考欄にリコール等の届出との関連が記載されているもの(35件)のうち、リコール等の届出後、改善措置が未実施の状況で事故・火災が発生した旨が記載されている事例(14件)について、ホームページの掲載内容から転記してまとめた(平成22年8月23日現在)。

自動車リコール制度に関する ユーザーアンケート調査 結果報告書

平成22年8月27日
消費者委員会

■アンケート概要

- (1) インターネット調査会社のモニターを利用したWebアンケート
インターネット調査会社のモニター(約115万人)から以下の条件で対象者を抽出
自動車運転免許保有者
自動車保有者(世帯で保有している人、過去に保有していた人も含む)
職業が公務員のモニターは対象外とする
- (2) 調査対象者
3,892名
- (3) 調査実施時期
平成22年6月23日(水)～6月25日(金)
- (4) 回答率(回答者数)
66.6% (2,594名)

自動車リコール制度に関するユーザーアンケート調査

■アンケート調査票

F1. あなたはどれくらいの頻度で自動車を運転しますか

- | | |
|------------|------------|
| 1 ほとんど毎日 | 6 月に1回程度 |
| 2 週に4～5回程度 | 7 数ヶ月に1回程度 |
| 3 週に2～3回程度 | 8 それ以下 |
| 4 週に1回程度 | 9 運転はしない |
| 5 月に2～3回程度 | |

Q1. あなたは自動車の「リコール」、「改善対策」、「サービスキャンペーン」の違いを知っていますか

- 3つの制度の違いを具体的に知っている
- 3つの制度の違いがあることは知っているが、具体的に何が違うのかは知らない
- 3つの制度の中で、知っている制度と知らない制度がある
- 全てよくわからない

Q2. あなたは国土交通省の「自動車不具合情報ホットライン」を知っていますか

- 知っていて、利用したこともある
- 知っているが、利用したことはない
- 存在自体、知らない

Q3～5はQ2で「自動車不具合情報ホットライン」を「1. 知っていて利用したこともある」とお答えの方にお伺いします

Q3. あなたは「自動車不具合情報ホットライン」をどのように利用しましたか、当てはまるものをすべてお選びください

- リコールの情報を検索したことがある
- 自動車の不具合や事故・火災情報を検索したことがある
- 車の不具合などの情報を、書込み・電話等で情報提供したことがある
- 「公表資料」や「自動車を安全に使うためには」などのページを閲覧したことがある
- その他()

Q4. あなたが国土交通省の「自動車不具合情報ホットライン」を利用した感想をお聞かせください

- 利用しやすかった
- やや利用しやすかった
- やや利用しにくかった
- 利用しにくかった

Q5. Q4でお答えになった回答の具体的な理由をお答えください
(要望・改善点等もありましたら、ご自由にお書きください)

全員にお伺いします

Q6. あなたはこれまでに自動車メーカーやディーラーからリコールなどの自動車の不具合に関する通知をもらったことがありますか

- ある
- ない

Q7・Q8はQ6でリコールなどの自動車の不具合に関する通知をもらったことが「1. ある」とお答えの方にお伺いします

Q7. あなたが自動車メーカーやディーラーから受け取った通知はどのような内容でしたか、該当するものを全てお選びください

- リコール
- 改善対策
- サービスキャンペーン
- 注意喚起
- 保証期間の延長
- よくわからないが、そのような通知があった

Q8. あなたに自動車メーカーやディーラーから届いたリコールなどの通知は、分かりやすいものでしたが、該当するものを全てお選びください

- 分かりやすかった
- 広告などとの区別がつきにくいなど、リコールの通知であることが分かりにくかった
- 不具合の内容(部位や現象等)が分からなかった
- 不具合の危険度が分からなかった
- ユーザーとしてやるべきことが分からなかった
- その他()

全員にお伺いします

Q9. 自動車の所有者や住所が変わる場合、あなたは速やかに変更登録を行っていますか

- 自ら速やかに行っている
- ディーラー側で速やかに行っている
- 自動車税の納税通知書がきちんと届くように3月末までには行っている
- 所有者や住所が変わる場合でも、特に変更登録は行っていない
- 所有者や住所が変わったことがない
- よく分からない

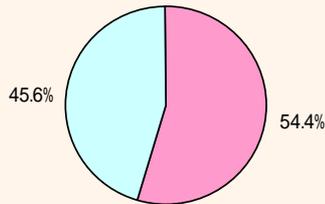
質問は以上です。ご協力ありがとうございました

自動車リコール制度に関するユーザーアンケート調査

■モニター属性

■性別区分

	度数	%
男性	1412	54.4
女性	1182	45.6
合計	2594	100.0

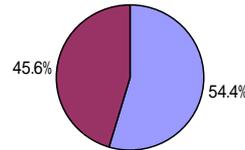


n=2594

■ 男性 □ 女性

<国土交通行政インターネットモニターユーザーアンケート>

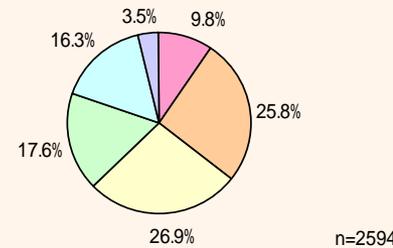
	度数
男性	529
女性	444
合計	973



■ 男性 ■ 女性

■年齢階層

	度数	%
20代	255	9.8
30代	670	25.8
40代	697	26.9
50代	457	17.6
60代	424	16.3
70代以上	91	3.5
合計	2594	100.0

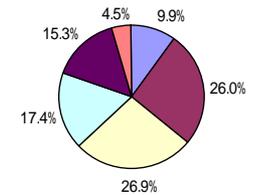


n=2594

■ 20代 ■ 30代 □ 40代
■ 50代 □ 60代 □ 70代以上

<国土交通行政インターネットモニターユーザーアンケート>

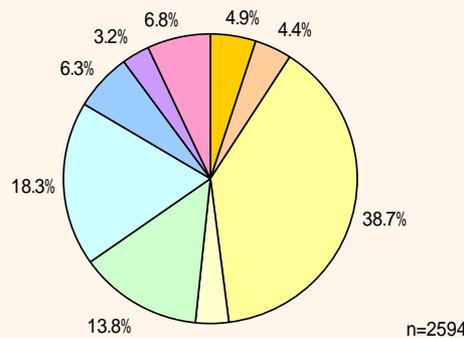
	度数
20代	96
30代	253
40代	262
50代	169
60代	149
70代以上	44
合計	973



■ 20代 ■ 30代 □ 40代
■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上

■地域分類

	度数	%
北海道	127	4.9
東北	113	4.4
関東	1003	38.7
北陸	94	3.6
中部	358	13.8
近畿	474	18.3
中国	164	6.3
四国	84	3.2
九州	177	6.8
合計	2594	100.0

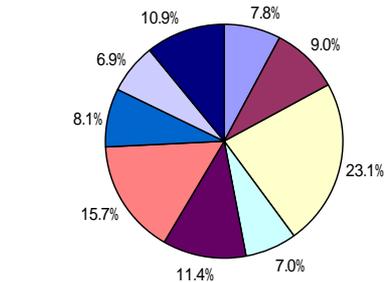


n=2594

■ 北海道 ■ 東北 ■ 関東 □ 北陸 □ 中部
□ 近畿 ■ 中国 ■ 四国 ■ 九州

<国土交通行政インターネットモニターユーザーアンケート>

	度数
北海道	76
東北	88
関東	225
北陸	68
中部	111
近畿	153
中国	79
四国	67
九州	106
合計	973

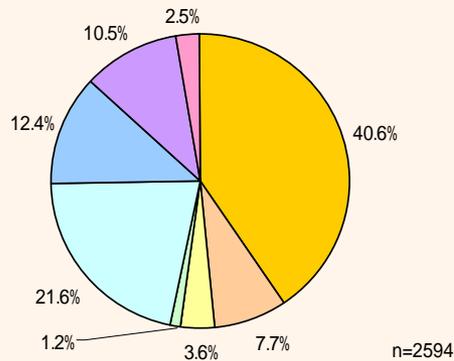


■ 北海道 ■ 東北 □ 関東 □ 北陸 ■ 中部
■ 近畿 ■ 中国 □ 四国 ■ 九州

自動車リコール制度に関するユーザーアンケート調査

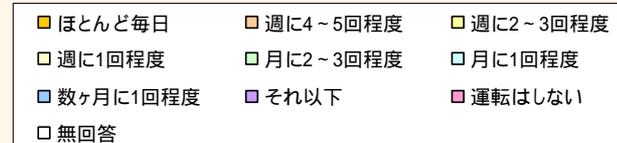
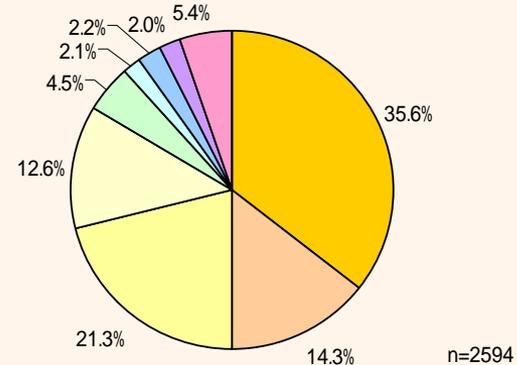
■職業分類

	度数	%
会社員・役員	1053	40.6
自営業	199	7.7
専門職	94	3.6
公務員		
学生	31	1.2
専業主婦	560	21.6
パート・アルバイト	321	12.4
無職	272	10.5
その他	64	2.5
合計	2594	100.0



■運転頻度

	度数	%
ほとんど毎日	923	35.6
週に4~5回程度	371	14.3
週に2~3回程度	552	21.3
週に1回程度	326	12.6
月に2~3回程度	118	4.5
月に1回程度	55	2.1
数ヶ月に1回程度	57	2.2
それ以下	52	2.0
運転はしない	140	5.4
無回答		
合計	2594	100.0

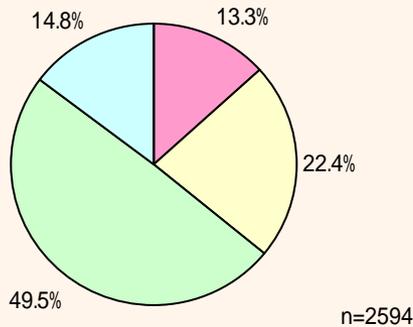


自動車リコール制度に関するユーザーアンケート調査

■アンケート結果

■あなたは自動車の「リコール」、「改善対策」、「サービスキャンペーン」の違いを知っていますか

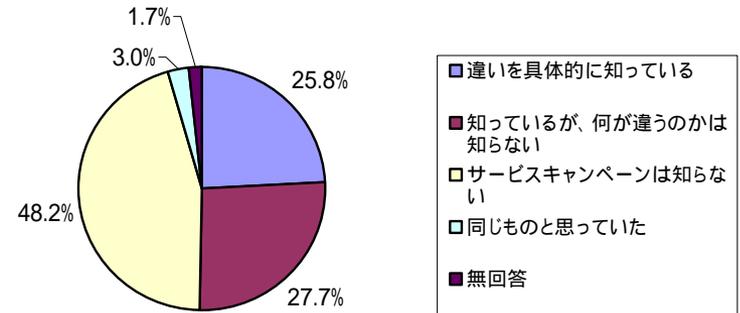
	度数	%
3つの制度の違いを具体的に知っている	345	13.3
3つの制度に違いがあることは知っているが、具体的に何が違うのかは知らない	581	22.4
3つの制度の中で知っている制度と知らない制度がある	1284	49.5
全てよくわからない	384	14.8
無回答		
合計	2594	100.0



- 3つの制度の違いを具体的に知っている
- 3つの制度に違いがあることは知っているが、具体的に何が違うのかは知らない
- 3つの制度の中で、知っている制度と知らない制度がある
- 全てよくわからない
- 無回答

<国土交通行政インターネットモニター
ユーザーアンケート>

	%
違いを具体的に知っている	25.8
知っているが、何が違うのかは知らない	27.7
サービスキャンペーンは知らない	48.2
同じものと思っていた	3.0
無回答	1.7

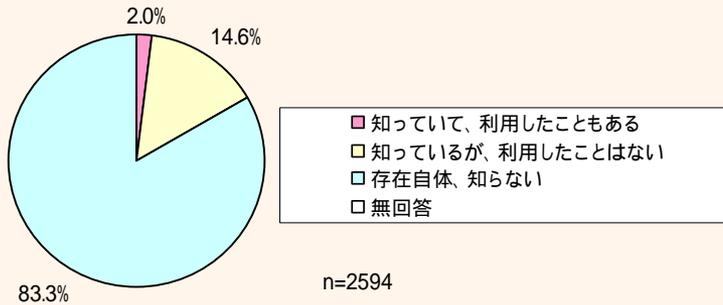


上記グラフは、合計が100%を越えるが、国土交通省の公表資料「平成20年度第6回リコール検討会配布資料「ユーザーアンケート結果」によるものである。

自動車リコール制度に関するユーザーアンケート調査

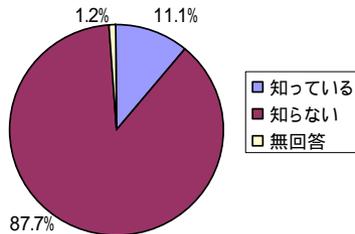
■あなたは国土交通省の「自動車不具合情報ホットライン」を知っていますか

	度数	%
知っていて、利用したこともある	52	2.0
知っているが、利用したことはない	380	14.6
存在自体、知らない	2162	83.3
無回答		
合計	2594	100.0



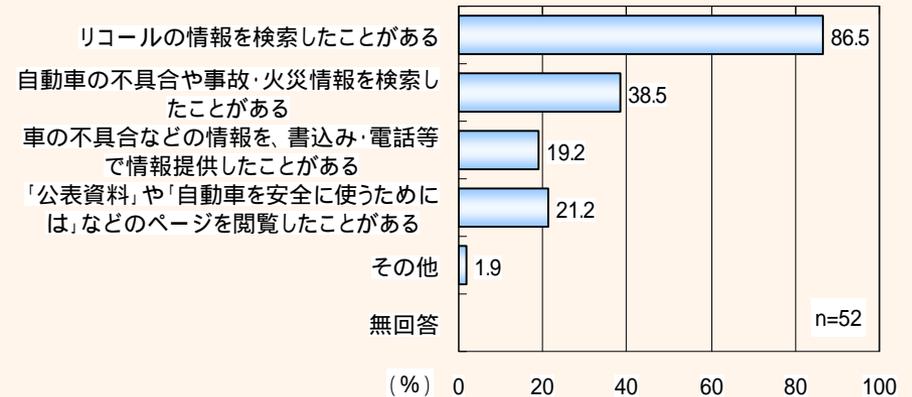
<国土交通行政インターネットモニター
ユーザーアンケート>

	%
知っている	11.1
知らない	87.7
無回答	1.2



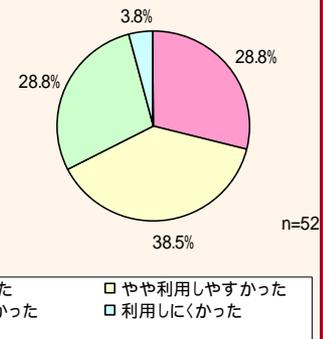
■あなたは「自動車不具合情報ホットライン」をどのように利用しましたか。当てはまるものをすべてお選びください

	度数	%
リコールの情報を検索したことがある	45	86.5
自動車の不具合や事故・火災情報を検索したことがある	20	38.5
車の不具合などの情報を、書込み・電話等で情報提供したことがある	10	19.2
「公表資料」や「自動車を安全に使うためには」などのページを閲覧したことがある	11	21.2
その他	1	1.9
無回答		
合計	52	100.0



■あなたが「自動車不具合情報ホットライン」を利用した感想をお聞かせください

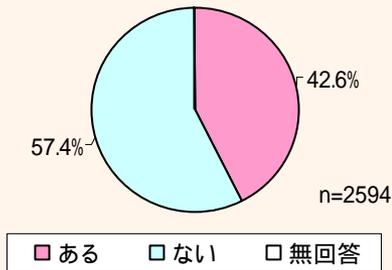
	度数	%
利用しやすかった	15	28.8
やや利用しやすかった	20	38.5
やや利用しにくかった	15	28.8
利用しにくかった	2	3.8
無回答		
合計	52	100.0



自動車リコール制度に関するユーザーアンケート調査

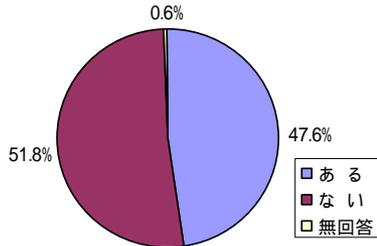
■あなたはこれまでに自動車メーカーやディーラーからリコールなどの自動車の不具合に関する通知をもらったことがありますか

	度数	%
ある	1106	42.6
ない	1488	57.4
無回答		
合計	2594	100.0



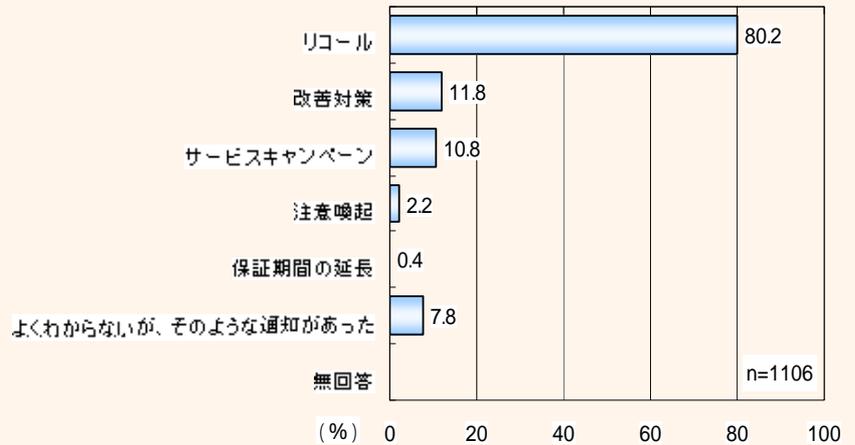
<国土交通行政インターネットモニター
ユーザーアンケート>

	%
ある	47.6
ない	51.8
無回答	0.6



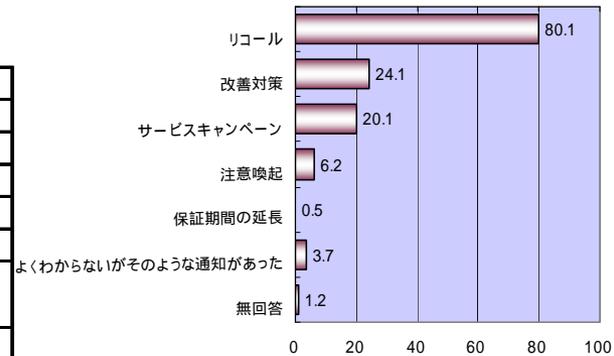
■あなたが自動車メーカーやディーラーから受け取った通知はどのような内容でしたか。該当するものを全てお選びください

	度数	%
リコール	887	80.2
改善対策	130	11.8
サービスキャンペーン	119	10.8
注意喚起	24	2.2
保証期間の延長	4	0.4
よくわからないが、そのような通知があった	86	7.8
合計	1106	100.0



<国土交通行政インターネットモニター
ユーザーアンケート>

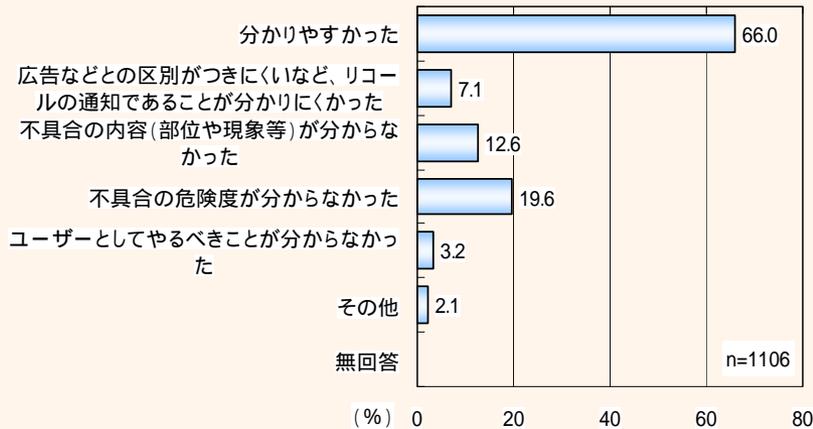
	%
リコール	80.1
改善対策	24.1
サービスキャンペーン	20.1
注意喚起	6.2
保証期間の延長	0.5
よくわからないがそのような通知があった	3.7
無回答	1.2



自動車リコール制度に関するユーザーアンケート調査

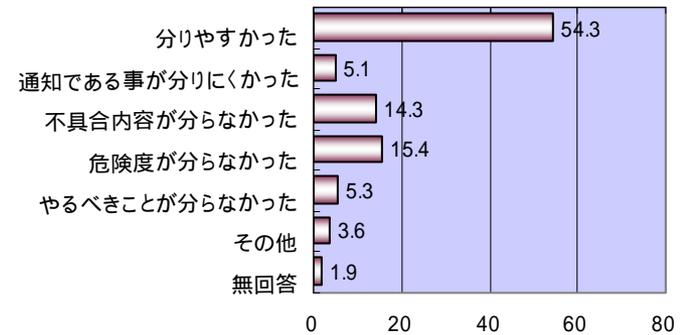
■あなたに自動車メーカーやディーラーから届いたリコールなどの通知は分かりやすいものでしたか

	度数	%
分かりやすかった	730	66.0
広告などとの区別がつきにくいなど、リコールの通知であることが分かりにくかった	78	7.1
不具合の内容(部位や現象等)が分からなかった	139	12.6
不具合の危険度が分からなかった	217	19.6
ユーザーとしてやるべきことが分からなかった	35	3.2
その他	23	2.1
無回答		
合計	1106	100.0



<国土交通行政インターネットモニター
ユーザーアンケート>

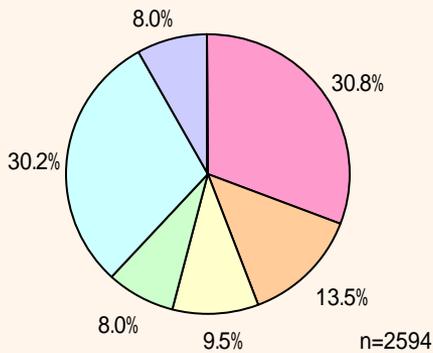
	%
分かりやすかった	54.3
リコールの通知であることが分からなかった	5.1
不具合の内容が分からなかった	14.3
ユーザーとしてやるべき事が分からなかった	5.3
不具合の危険度が分からなかった	15.4
その他	3.6
無回答	1.9



自動車リコール制度に関するユーザーアンケート調査

■自動車の所有者や住所が変わる場合、あなたは速やかに変更登録を行っていますか

	度数	%
自ら速やかに行っている	800	30.8
ディーラー側で速やかに行っている	349	13.5
自動車税の納税通知書がきちんと届くように3月末までには行っている	246	9.5
所有者や住所が変わる場合でも、特に変更登録は行っていない	207	8.0
所有者や住所が変わったことがない	784	30.2
よく分からない	208	8.0
無回答		
合計	2594	100.0

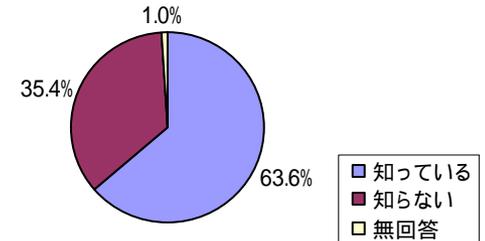


- 自ら速やかに行っている
- ディーラー側で速やかに行っている
- 自動車税の納税通知書がきちんと届くように3月末までには行っている
- 所有者や住所が変わる場合でも、特に変更登録は行っていない
- 所有者や住所が変わったことがない
- よく分からない
- 無回答

<国土交通行政インターネットモニター
ユーザーアンケート>

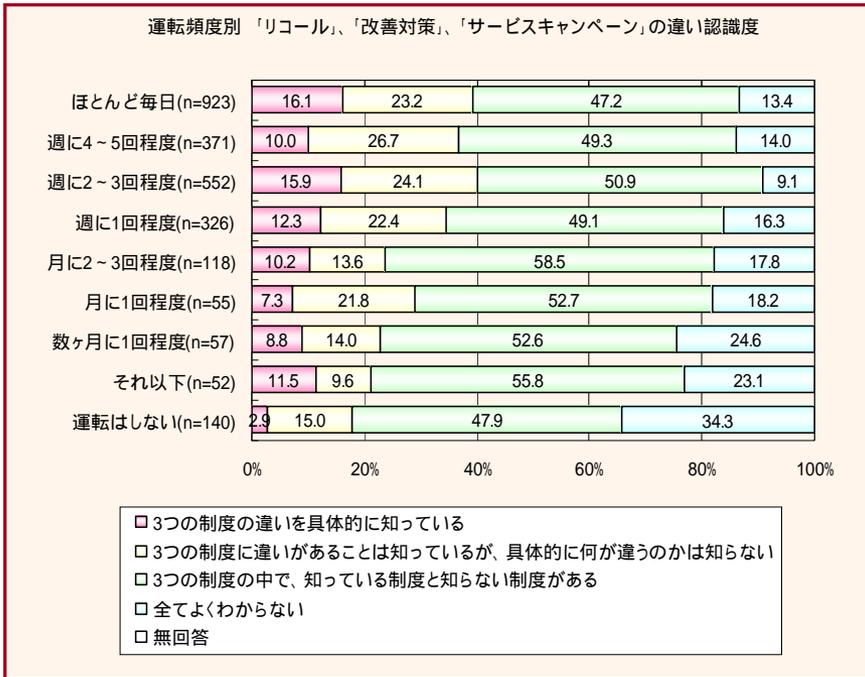
あなたは自動車の変更登録を知っていますか

	%
知っている	63.6
知らない	35.4
無回答	1.0

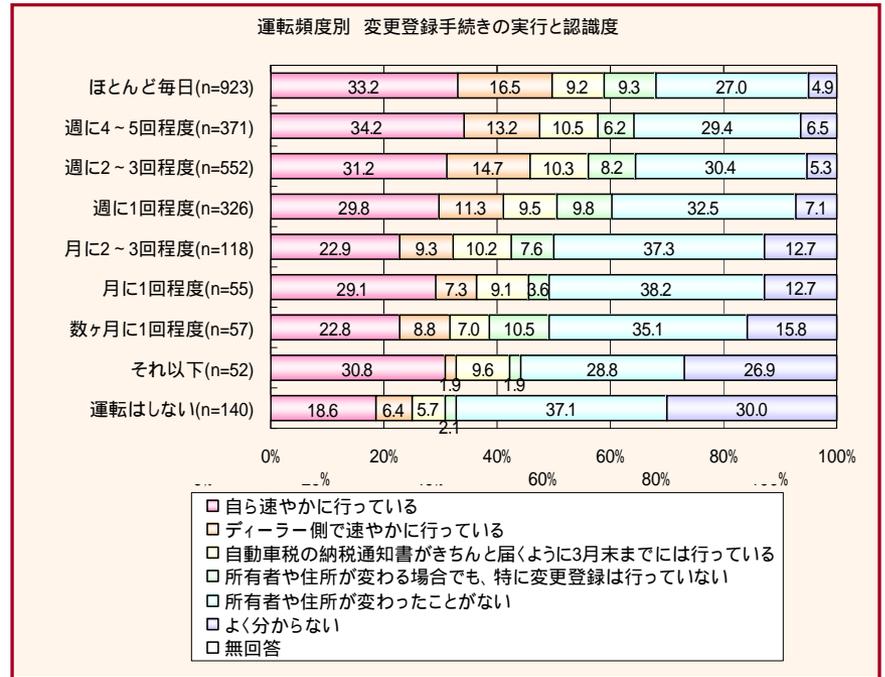


自動車リコール制度に関するユーザーアンケート調査

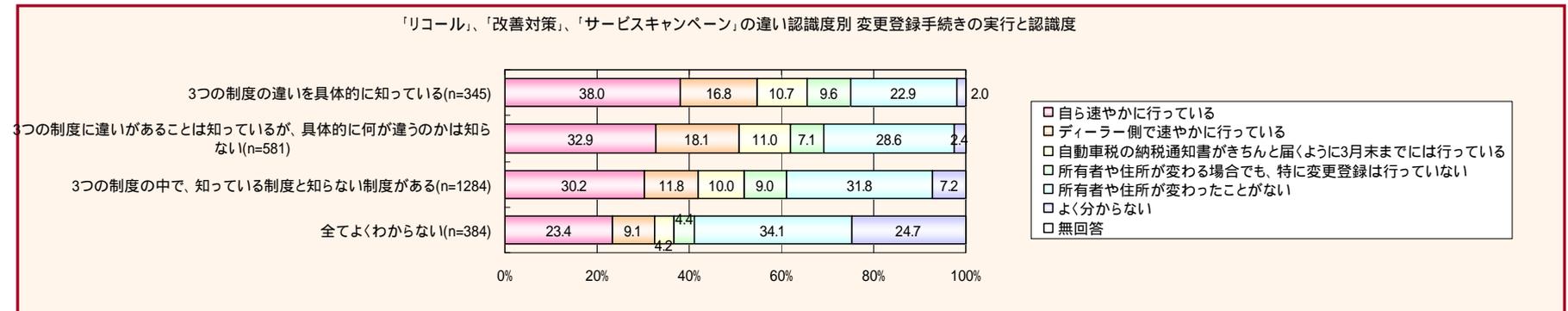
運転頻度の高い人ほど、リコール等の制度の存在、違いを認識している



運転頻度の高い人ほど、所有者や住所の変更登録手続きを認識していて、実際に行っている

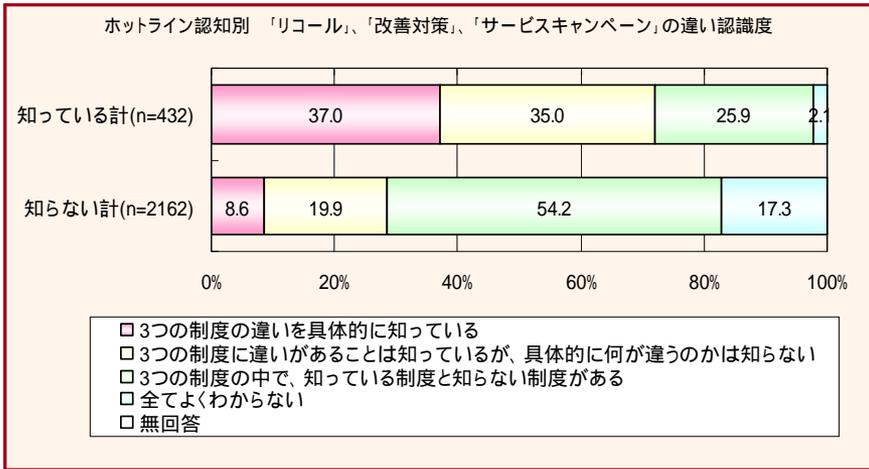


制度を認識・理解している人ほど、変更登録手続きを認識していて、実際に行っているが、制度の認知・理解に関わらず、所有者や住所が変わっても変更登録は行っていない人が一定数存在する

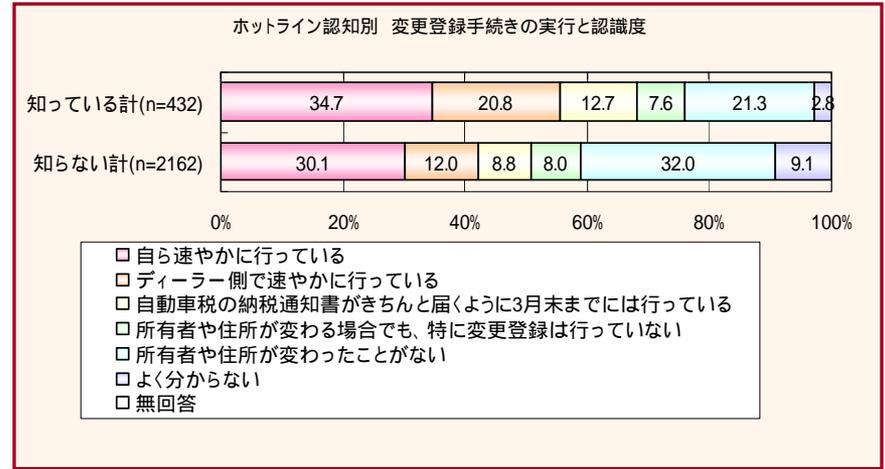


自動車リコール制度に関するユーザーアンケート調査

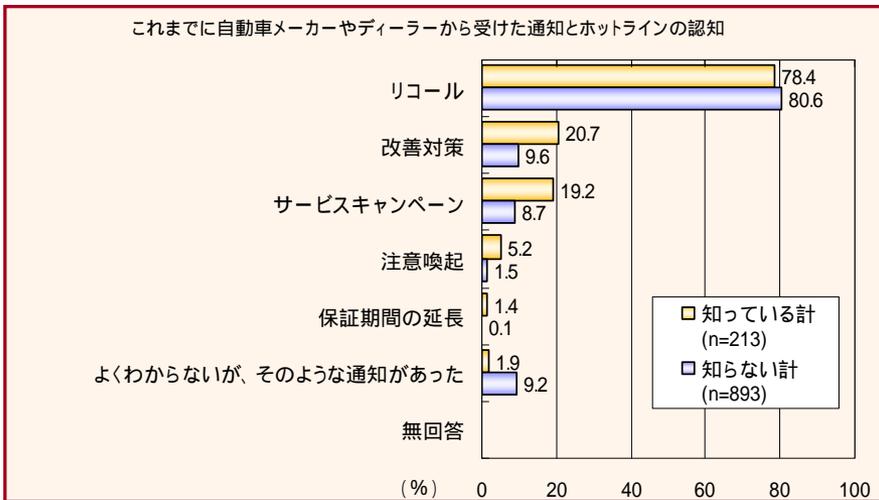
「自動車不具合情報ホットライン」の認知者は、制度についての認識度が高い



「自動車不具合情報ホットライン」の認知者は、所有者や住所の変更登録手続きを認識していて、実際に行っている。「自動車不具合情報ホットライン」の認知・利用経験に関わらず、所有者や住所が変わっても変更登録は行っていない人が一定数存在する



リコールの通知は、「自動車不具合情報ホットライン」の認知度によって認識の差はないが、リコール以外の通知では、認識に差が出た



制度を認識・理解している人ほど、通知の内容が分かりやすかったと回答

